

高等学校 令和5年度(2学年用)

家庭科 科目 家庭基礎

教科: 家庭科 科目: 手芸基礎 単位数: 2 単位
 対象学年組: 第 1 学年 1 組 ~ 6 組
 教科担当者: 宇井 一輝 加藤 貴子 鎌田 靖子 角田 聡子 飯嶋 智子
 使用教科書: 「家基707図説家庭基礎」

- 教科 家庭科 の目標:
- 【知識及び技能】 生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それに係る技術を身に付ける。
 - 【思考力、判断力、表現力等】 生活の中から問題を見だし、生涯を見通して課題を解決する力を養う。
 - 【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向け主体的に学び、家庭や地域の充実に資する実践的な態度を養う。

科目 家庭基礎	の目標:
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらにかかわる技能を身につけている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見だして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。
	【学びに向かう力、人間性等】
	さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	<p>「オリエンテーション」</p> <p>【知識及び技能】 授業の流れを把握する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 科目の性格と目標を理解させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 主体的に取り組む。</p>	<p>・指導事項 「家庭基礎」を学ぶにあたって、学習の意義や内容、情報収集、レポートの書き方など学習の方法、評価の方法を理解させる。</p> <p>・教材 プリント 記録ファイル</p>	<p>【知識及び技能】 実習の進め方、記録の取り方を理解し、授業を進めていくことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 実習を通して学び、自分の考えや意見を述べることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 主体的に取り組むことができる。</p>	○	○	○	1
	<p>自分らしい生き方と家族</p> <p>【知識及び技能】 「人とかかわって生きる」を理解し、身に付けることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 知識を活用した学習活動により総合的に考え判断する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 積極的に質問をすることができ、授業や実習に主体的に取り組む。</p>	<p>・指導事項 自己分析をすることで自分らしい生き方について考える。時代とともに変化する家族・家庭について学習し、現在の家族の抱える課題などを多角的に理解する。</p> <p>・教材 プリント 記録ファイル 振り返りシート</p>	<p>【知識及び技能】 各ライフステージごとの発達課題について理解し、それぞれの発達段階で起こり得るライフイベントと関連させて理解することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自分の適性について考えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 将来の自分がつくる家族について考えようとしている。</p>	○	○	○	7
	<p>子どもとかかわる</p> <p>【知識及び技能】 10代の健康の大切さを理解し、行動することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 子どもを生み育てる意義について考え、理解し、考えを述べるができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 子どもの人間形成には、保育者やまわりの人とかかわりが重要であることを理解する。</p>	<p>・指導事項 青年期の健康が将来の生まれてくる子どもにつながっていることを知り、育てる力について学ぶ。 ・子どもの身体の成長について、大まかな流れと特徴を理解する。 子どものよい生活習慣はすこやかな成長を促すことや、子どもの健康管理や安全対策の重要性について学ぶ。</p> <p>・教材 プリント 記録ファイル 振り返りシート</p>	<p>【知識及び技能】 将来子どもを生む可能性のある今の10代の健康が、子どもの命にかかっていることを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 子どもの発達に対し、どのような関わり方がよいか考えようとしている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自分の現在・将来と結びつけながら、考え、学習しようとしている。</p>	○	○	○	7
	<p>高齢者とかかわる</p> <p>【知識及び技能】 現在の高齢社会、高齢化の進む社会について統計などより理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 高齢社会の現状と課題を理解し、高齢者の自立支援と家族や地域の役割を考え、行動する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 高齢期について自分と結びつけながら考える。</p>	<p>・指導事項 高齢者とかかわることの意義、高齢社会の現状と課題について学習する。 高齢社会の現状を理解するとともに、高齢者への理解を深める。 高齢者の心身の変化と生活について学習する。</p> <p>・教材 プリント 記録ファイル 振り返りシート</p>	<p>【知識及び技能】 現在の高齢社会、高齢化の進む社会について統計などより理解することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 人生経験のある高齢者とかかわりを持つことの意義を理解し、行動できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 高齢期について自分と結びつけながら考えようとしている。</p>	○	○	○	5
	<p>食生活をつくる</p> <p>【知識及び技能】 食に関する基礎的、基本的な知識と技術を習得させ、生涯を見通した食生活が営めるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 安全な食生活の送り方を理解し、衛生的な調理や食事管理ができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 栄養・食品に関する科学的な知識や調理の基礎的な技術を身につけ、それを実際の食生活に生かすことができる。</p>	<p>・指導事項 食を食べることと健康のかかわり、現代の食生活の変化と問題点について学習する。5大栄養素と水について学習し、からだとのつながりについて考える。 ・食中毒の種類や予防法等について学び、衛生的な調理や食事管理ができるようにする。</p> <p>・教材 プリント 記録ファイル 振り返りシート 計量カップ・計量スプーン・デジタルスケール</p>	<p>【知識及び技能】 生活習慣病、摂食障害、月経異常などと食生活がかかっていることを理解できる。 調理室の使い方を理解し、正しく計量ができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 外食やコ食について理解を深めようとしている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自分の現在の食生活を振り返り、課題を見つけ、改善にむけて積極的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	5

定期考査			○	○	1
------	--	--	---	---	---

